

(写真：12/19 端野総合支所 2F から見たスキー場方面の風景)

たんの地域振興だより



発行/編集：端野総合支所 総務課 地域振興担当 (TEL56-2113)

「元旦」・・・119年目の夜明け

あけましておめでとうございます。

平成27年の幕開けです。

端野自治区では、開基119年目。

明治30年

先人による開拓の鍬が入り

自然の厳しさと闘い、

今日の豊かな端野自治区があります。

先人の苦難苦闘の歴史のうえに、

私たちの生活があります。

これまでの先人の苦勞に

改めて感謝します。

119年目の今年、

積み重ねられてきた「歴史と文化」

そして「地域の絆」を大切に、

更なる「ふるさと端野」を創りあげ

次代への架け橋となる

一年に行きたいと思えます。

平成27年1月1日 元旦

・・・暴風雪による「避難所」開設（端野総合支所）・・・

昨年 12/17 (水)～12/18 (木)、北海道を中心に暴風雪に見舞われ、北見市でも交通障害など市民生活に大きな影響がありました。

北見市では、12/16 (火) 22時に「災害対策本部」が設置され、端野自治区でも「自治区災害対策本部」が設置されました。12/17 (水) 15時には、国道39号線が通行止め（端野消防支署前～美幌町高野）となり、道々も通行止めで網走・美幌方面に行くルートが全て絶たれたため、15:30 端野総合支所で「避難所」を開設し、その夜は8名の方が避難所で一夜を過ごしました。

翌日 12/18 (木) 8:00に国道39号線が開通したため、避難所を閉じました。今回、端野自治区では大きな被害はありませんでしたが、住民のみなさんは交通障害や除雪など大変な日々だったと思います。今後も暴風雪による交通障害などがあると思いますが、除雪等へのご理解とご協力をお願いいたします。



・・・【 端野町賛歌「きらめく夢を」 】・・・

みなさんは端野町賛歌「きらめく夢を」をご存知でしょうか。

平成8年に開基100年事業の一環で音楽をとおした町の活性化を計画し、この歌が誕生しました。開基100年記念式典で町民コーラスによって合唱されました。

また、平成18年の合併に伴う端野町閉町式でも住民合唱団を結成し、会場のみなさんと一緒に歌った賛歌です。

端野町賛歌「きらめく夢を」

作詞：田中京蔵
 編詞：町民音楽祭実行委員会
 作曲：磯崎敦博

1. ぬくもり溢れる この町で
 花の頬撫でて 風寄るころに
 野山の緑と 語らいながら
 実り豊かな 明日を耕す
 かがやいて端野 星空のように
 きらめく夢を いついつまでも
 かがやいて端野 星空のように
 きらめく夢を いついつまでも

2. ふれあい楽しい この町で
 樹々の緑が 濃くなるころに
 澄んだ瞳に 夕日を映し
 肩寄せ合って 未来を織りなす
 ときめいて端野 星空のように
 きらめく夢を いついつまでも
 ときめいて端野 星空のように
 きらめく夢を いついつまでも

3. 笑顔溢れる この町で
 ひまわりやさしく ささやくころに
 流れる雲も さえずる鳥も
 未来すばらしい ふるさとを謳う
 はばたい端野 星空のように
 きらめく夢を いついつまでも
 はばたい端野 星空のように
 きらめく夢を いついつまでも



※ちなみに、町の詞として「端野音頭」(昭和41年11月3日制定)もあります。